

くらしに役立つ新聞
しんぶん「赤旗」
日刊—3497円
日曜版—823円

新 宮 田

日本共産党
上伊那地区委員会
電話 72-2465
宮田村委員会

国道一五三号線バイパスは

村づくりを大きく左右するもの

村議会が県に対し

慎重整備を求める意見書を提出

村議会三月定例会最終日の二十日、「国道一五三号伊駒アルプスロードに対する意見書」を全会一致で採択し、県知事、県建設部長、県伊那建設事務所長に提出しました。

意見書は、県が計画段階の環境調査をルート帯A、ルート帯B、について行うとしてから一年間、調査の具体的な手法や進捗状況についての情報提供がなされない中で選

定案（ルート帯B）が発表され、住民から疑問や不安の声があがっている。

また、この道路が今後の宮田村の村づくりを大きく左右するものであること。などから県に対し、今後県は地域住民への十分な説明を行ない、情報を共有し、住民参加を得ながら慎重に事業を推進していただきたい。としています。

◆イメージキャラクター製作について
「障がい者福祉事業及び障がい

「障がい者福祉事業」の廃止 「イメージキャラクター制作」について 村に対し、議会が全会一致付帯決議

村議会は二十日、平成二十七年宮田村一般会計予算執行に当たり次の二点について全会一致、付帯決議

を行いました。

◆「障がい者福祉事業及び障がい

子育て支援」について

長年続いてきている障害者福祉金

（前年予算で約一千万円・対象者

二百数十人）が全額カットの予算書となつている。受給対象者に経緯の説明を行うとともに、より良い制度のあり方について慎重に検討し、議会に報告した上で予算執行に当たること。

村が実施したアンケート結果では必要」が七・四%、「必要と思わない」が六五・〇%の結果となつている。アンケートの結果を尊重するとともに、更に多くの住民の意向を踏まえて慎重に検討し、議会に報告した上で予算の執行に当たること。

医療・福祉・暮らし充実の声に

応えて日本共産党奮闘

自民党は二議席独占に執念

―県議選の構図明確に―

今度の県議選挙で世論調査では医療・福祉の充実が一番、暮らし応援が次に続いています。

日本共産党の候補は、この四年間の中でも上伊那の医療・介護の充実のため目を見えて実績をあげてきました。

選挙の時の公約だけの候補とは大きな違いです。

また、今度の選挙の特徴は、自民党は

TPP・介護の削減・集団的自衛権・憲法、国民の反発が強い政策を強力に推進するため、地方議会で積極的に候補を立てていることです。

上伊那でも小泉元首相の秘書が候補を立てるなど二議席を狙っています。

日本共産党の議席獲得が安倍内閣の暴走にストップをかける力です。